

バリアフリーVR観戦「未来のスターの指定席」

目的・ねらい

東京2020大会の競技観戦において、病気、障害および会場までの移動に関する課題などにより、参加が困難な子供たちに対し、最新テクノロジー等を活用し、「まるで会場で参加しているような」特別な体験ができる機会を提供する。

取組・活動内容

①実施時期

令和3年7月27日、29日、31日、8月2日、4日

②実施規模

特別支援学校13校 児童・生徒296名

③取組・活動内容

・子供たちは、ドーム型の「VRシアター」で開会式やバレーボール、バドミントンの試合の映像を見ながら、臨場感を味わった。また、「マスコットロボット体験ツアー」では、競技会場に設置されたマスコットロボットを生徒たちが、学校から遠隔操作し、ライブで選手を応援した。このほか、「マスコットグリーティング」では、ロボット型のミライトワ、ソメイティと子供たちが、クイズやダンスによる交流、記念撮影をして、楽しんだ。

本取組・活動の成果

- 児童・生徒からは「(VRシアター内では、)テレビでは見られない上(天井)のほうまで見えたので、なんだか会場にいるような気持ちになりました。」「ロボットを思いどおりに動かすことができ、楽しかったです。ミライトワがかわいかった!」「ロボットと記念撮影しました。ロボットの動きがすごすぎて感動しました。未来が楽しみです。」といった感想があった。
- 東京2020大会の競技観戦に際し、病気、障害および会場までの移動に関する課題などにより、参加が困難な子供たちに対し、最新テクノロジー等を活用し、「まるで会場で参加しているような」特別な体験を通して機会を提供することで、子供たち一人一人の心と体に、掛け替えのない体験を提供した。

活動の様子

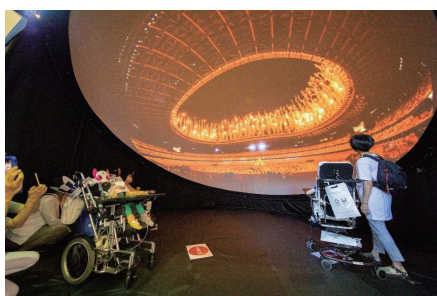


Photo by Tokyo2020



Photo by Tokyo2020



Photo by Tokyo2020